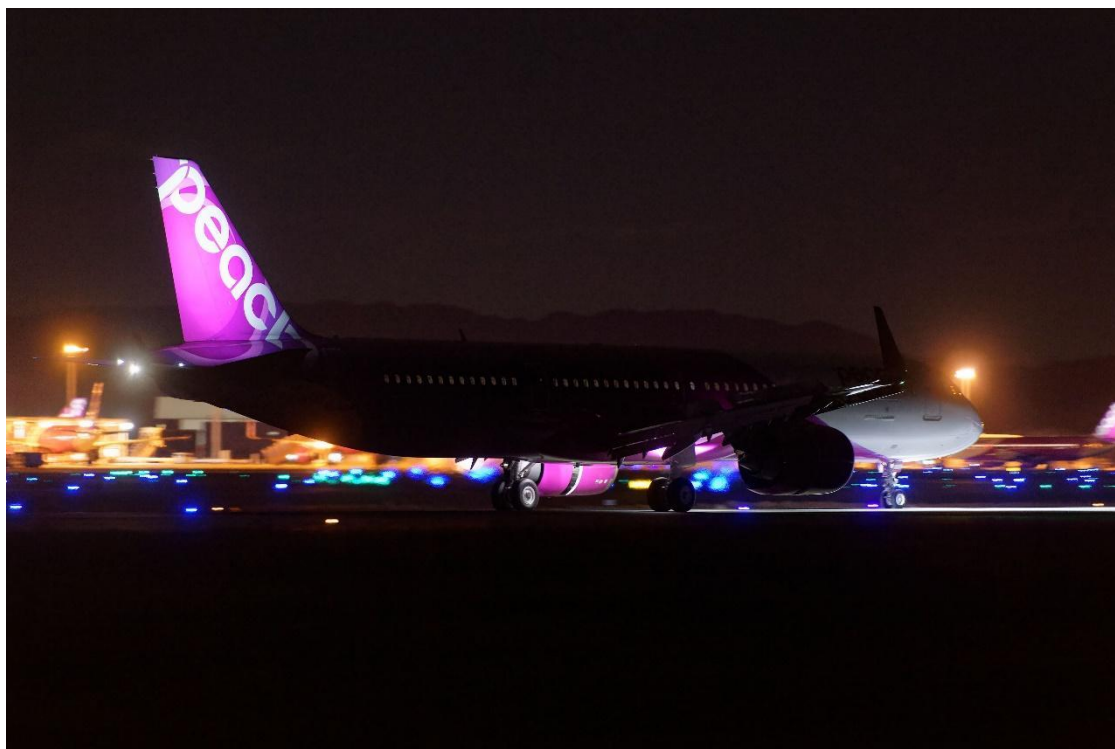


2021年12月20日
Peach Aviation 株式会社

日本初！エアバス A321LR がまもなく就航 ～新世代エンジン LEAP-1A 採用で燃費が約 20%向上～

- 2021年12月19日、関西空港に到着
- シートピッチは30～32インチ、各座席には充電用のUSB端子を設置
- 2025年度中に、保有するすべての機材を環境に配慮した新機材に切り替え

Peach Aviation 株式会社（以下：Peach、代表取締役 CEO：森 健明）は、エアバス A321LR の初号機が、2021年12月19日、ドイツ・ハンブルクから関西空港に到着したことを発表しました。来月2022年1月以降、大阪（関西）と札幌（新千歳）、沖縄（那覇）を結ぶ定期便での運用を予定しており初便は1月18日のMM211便（大阪（関西）－沖縄（那覇）線）にて運航する予定です*1。国内航空会社で A321LR を導入するのは、Peach が初めてとなります。



関西空港に到着した A321LR 初号機（2021年12月19日）

Peach が導入する A321LR は、CFM 社製の LEAP-1A エンジンやシャークレット（大型の翼端板）を採用しており、従来機（A320ceo）と比較し、約 20% の燃費向上を実現します。

また、Peach が導入する A321LR のシートピッチは、30～32 インチ（約 76～81cm）で、各座席には充電用の USB 端子を設けるなど、機内での快適性が向上しています。さらに、エアバス社の航空機は他社の航空機と比べ、座席幅が 1 インチ（約 2.5cm）広く、ゆとりのある機内空間を実現しています。

A321LR の導入について、代表取締役 CEO の森 健明は「Peach では、A321LR と同様に燃費性能が高い新型機エアバス A320neo をすでに 5 機運航しています。2025 年度中には保有する全ての機材を高効率で環境性能が高い A321LR と A320neo に切り替え、サステナブルな航空輸送の実現を目指します。さらに、環境に配慮した機材の導入のほか、オペレーションの改善による環境負荷の低減に取り組むなど、A321LR の導入をきっかけに、環境への取り組みを積極的に進めてまいります」と述べています。

今後も Peach は、感染対策を徹底し、お客様と一緒に新しい旅のスタイルを作りながら、日本各地を結ぶ公共交通機関として、地域経済の活性化に寄与してまいります。

*1 運航スケジュールは変更となる可能性がございます。

A321LR の概要 (参考として、「A320ceo」の数値、情報も記載)

※数値はすべて、エアバス社が公表するカタログ値

<機材について>

機材	仕様	
	エアバス A321LR	エアバス A320ceo
座席数	218 席	180 席
全長	44.5m	37.57m
全幅	35.8m	34.1m
全高	11.76m	
エンジン(型式名)	CFM インターナショナル 社製 LEAP-1A 系列型	CFM インターナショナル 社製 CFM56-5B 系列型
最大離陸重量	97,000 kg	78,000kg
最大着陸重量	79,200 kg	66,000kg
航続距離	7,400km	6,200km
Cargo 仕様	Bulk	
ETOPS	なし	

<機内の仕様について>

シート	仕様	
	RECARO BL3710	RECARO SL3510 ^{*2}
シートピッチ	30~32 インチ	28 インチ
リクライニング機能	あり	なし
Space Flex	あり (機体後部 Galley 横に Lavatory を 2 室配置する仕様)	なし
シート電源	あり(USB 電源)	なし
機内 Wi-Fi	なし ^{*3}	

*2 背もたれが 15 度倒れた状態で固定されたプレリクライニング仕様です。機材によりシートの種類が異なります。

*3 Peach では、お客様ご自身のスマートフォンやタブレット端末で、動画コンテンツ、フライトマップや機内販売商品のセルフオーダーサービスをお楽しみいただける、機内デジタルサービスを全機で提供しています。

<環境性能について>

燃費	仕様
	従来機 (A320ceo) と比較し 20% 削減
CO2 排出量	ICAO Annex 16 Volume II 準拠

Peach について (www.flypeach.com)

Peach は、2012 年 3 月に関西空港を拠点として運航を開始しました。新千歳、仙台、成田、中部、関西、福岡、那覇の 7 ヲ所を拠点空港として、国内線 33 路線、国際線 17 路線を運航しています。